

「みやこ町」の「お宝」の「お宝」について

「みやこ町」の「お宝」の「お宝」について

「みやこ町」の「お宝」の「お宝」について

### みやこ町の概要

経路：151.34km  
位置：東経130度55分17秒  
北緯33度41分57秒

町の花：さくら  
町の木：もみぢ  
町の鳥：うぐいす

### 交通のご案内

● JR東海線 津和野駅 徒歩20分  
● 北近畿自動車道 津和野IC 徒歩5分  
● 東九尾山自動車道「今川」ICより徒歩10分  
● 国道10号/津和野交差点より徒歩10分  
● 国道201号津和野交差点より徒歩15分

# 知れ

まずは、みやこ町の「お宝」について

「お宝」って何のこと？

「お宝」って何のこと？

## 伝説・昔話

「みやこ」の「お宝」が伝わる歴史

「みやこ」の「お宝」が伝わる歴史

「みやこ」の「お宝」が伝わる歴史

## 胸の観音

龍

龍

龍

### 2 お宝

#### 仙助さん

仙助さん

仙助さん

### 3 お宝

#### 生立さまのしりとり龍

生立さまのしりとり龍

生立さまのしりとり龍

### 4 お宝

#### 双子石

双子石

双子石

### 5 お宝

#### おむくの墓

おむくの墓

おむくの墓

### 6 お宝

#### お抱え地藏

お抱え地藏

お抱え地藏

### 7 お宝

#### いぼ神さま

いぼ神さま

いぼ神さま

お宝「伝説物語」の  
舞台・現地を見て、クイズに挑戦！

# 見ル

# と 解ク

クイズを解いてみよう！このパンフレットに書かれたことをちゃんと読んでないと解けないぞ

お宝は、  
おうちの人と  
見に行こう～

## 胸の観音

【むねのかんのん】

□を埋めて文章を完成させよう。



広大な田んぼを持つ□は、日照りつづきに困りはて、雨を自在に操る□が住むという□を訪ね、「雨を降らせてくれたら娘を一人差し上げましょう」と約束してしまいました。

## 仙助さん

【せんすけさん】

□を埋めて文章を完成させよう。

仙助さんは底抜けのお人よして知られ「大好きな□があればいい」といつもニコニコしていました。亡くなったあとは、□を持ってお参りにくれば、願いごとを一つかなえる□になりました。

## おむくの墓

【おむくのほか】

□を埋めて文章を完成させよう。

帆柱山に住んだ□・佐治右衛門の娘おむくは、出稼ぎに出た父の死の知らせに悲しんだあまり□の滝で亡くなりました。村人は滝のそばに立派なお墓を作って、この悲劇を語り伝えました。



## お抱え地蔵

【おかえじぞう】

□を埋めて文章を完成させよう。

地区のお堂にあるお抱え地蔵は、願いがかなうときは□く、かなわないときは□くなるといわれています。



## いぼ神様

【いぼがみさま】

□を埋めて文章を完成させよう。

地区の伽藍橋の辻にある「いぼ神様」は別名を□様といいます。イボを治してもらいたいとき、□様の下にある、小さな丸い□を借りてイボをこすり、治ったら倍にしてお返しします。

## 生立さまのしぼり龍

【おいたつさまのしぼりりゅう】

□を埋めて文章を完成させよう。

□のお宮の龍の彫物は、名人の作であつたために、やがて魂がこもって本物となり、社の前のため池で□するようになりました。



困った村人が生立さまの宮司さんに相談すると、その龍を預かってくれたのですが、今度は今川で□を始めました。宮司さんは龍に□をかけて、しぼりつけることにしました。

## 双子石

【ふたごいし】

□を埋めて文章を完成させよう。

□の麓にある□神社の境内にある双子石は、山頂にある□城主・橋為頼に起きた奇跡のあと、□の願いが叶う不思議な石として、今もたくさんの方がお参りに訪れます。



## ほかにいろいろあるよ、みやこ町の伝説・昔話

### 1 鬼岩（岸川／横瀬地区）

九州一の豪傑が残した鬼退治伝説

岸川横瀬には「鬼岩」と呼ばれる豪傑の天気の岩がある。この岩は、その昔夜ごと現れては人々を苦しめる鬼のすみかだったらしい。でも、九州一を自負する各地の武士たちに挑戦していた源為朝という豪傑が通りがかり、百箇の弓矢で鬼とそそのまかを粉々にしてくれた。岩はその名残りなんだそうだ。

### 2 ナンギョウバルの彦狐（豊津地区）

豊津にまだ街並みがなかったころのお話

その昔、豊津は「難行原」と呼ばれる。高麗山から瀬井操修行に下る山伏たちも迷うような「難」の多野原だった。このため道難でもキツネが寝ては、ここを通りかかると人に害をなすイタズラをしたらしい。そんな難行原も、豊津の町ができて一帯が切り拓かれ、やがてキツネもいなくなったということだ。

### 3 蔵持山の名の由来（岸川／上高麗地区）

空飛ぶお米を取めた蔵が建った不思議な物語

蔵持山は新しい修行で蘇方（船場方）が申される霊山で知られ、ある時静寂という修行僧が自在に曲り脚を持って修行中、蘇が門司濱の船に積まれた沢山の米を運んで来た。驚いて登せようとすると持ち主は「この米で寺を建ててほしい」というので、山に蔵と寺を建て「蔵持山宝蔵寺」と呼ぶようになったという。

### 4 一寸坊の墓（勝山／松田地区）

小松ヶ池の龍神の子の活躍を今に伝えるお話

一寸坊は小松ヶ池の龍神が若者に化け、村の娘と一緒に生まれてきた子で、小さな体に龍神の気性を受継ぎ大変勇ましい子でもあったらしい。あるとき九瀬へ赴いた修行天皇の危機を救い、いたいた褒美で49の寺を巡り仏教を広めた。その一寸坊の墓は寺も残り、近く石道の一寸坊の墓が建つ。

### 5 小一郎さま（豊津ほか町内各所）

無念の城主の魂が地域の守り神となる話

豊津地区やその周辺には「小一郎さま」と呼ばれる。境内でいたずらをするおとぎの神様が祀られている。この神様は備前国城主だった新田小一郎殿と豊津の藩で、たまに死んだので怒りっぽい神様らしいけど、丁寧に祀りすることで地域を優しく見守ってくれる頼もしい神様になるそうだ。

### 6 御手水（勝山／大久保地区）

珍しい地名の理由を語る、湧水にちなむ伝説

勝山大久保には「御手水」と呼ばれる珍しい地名があるけれど、これは大久保地区の民神・天孫降臨さまへ、毎朝の手洗「水（ちょうず）」を捧げるための湧水（御手水）があるからだ」という伝説だ。ちなみにこの地域では湧水のことを清水（しょうず）と呼ぶから、これを厳密に説明するための物語だね。

まずはココで  
情報を  
ゲット!



### みやこ町歴史民俗博物館（豊津）

みやこ町の歴史と文化についての資料・情報が集まる博物館。伝説・昔話についての資料もそろっているよ。わからないことは学芸員さんに聞いてみよう!

### みやこ町中央図書館（豊津）

博物館のとなりにある。みやこ町に関するあらゆる分野の本や情報が集まる図書館。館内外に伝わる伝説・昔話を記録した本もあるし、わからないことは窓口で司書さんにも聞いてみよう!

※伝説や昔話はみなさんの家族や地域の高齢者、昔からお住まいの方などがよくご存じです。いろいろと聞いてみよう!!

みやこ町の伝説・昔話を  
知りたいときは